

メガネフレーム 取扱説明書

メガネを安全に、快適にお使いいただくための
説明書です、必ず保管してください。

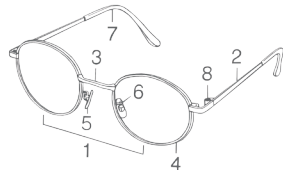
フレームの種類と各部名称

A| プラスチックフレーム



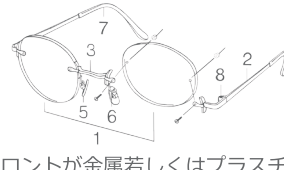
フロントの主要部分がプラスチック
で作ってあるフレーム

B| メタルフレーム



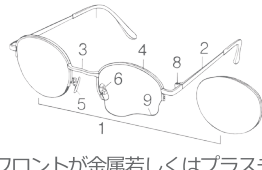
フロントの主要部分が金属で
作ってあるフレーム

E| 縁なしフレーム(ツープイントフレーム)



フロントが金属若しくはプラスチック
又はその組合せで作られたもので、
リムがレンズを取り巻かない形式の
フレーム

F| 溝掘りフレーム

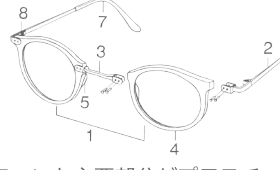


フロントが金属若しくはプラスチック
又はその組合せで作られたもので、
レンズに設けてあるみぞ部をバンド
(吊り糸) で保持する形式のフレーム

各 部 名 称

- 1| フロント (前枠) —— フレーム前面部の総称
- 2| テンプル (つる) —— 丁番の部分から耳にかかる部分間での総称
- 3| ブリッジ (山) —— 左右のリムをつなぐ部分
- 4| リム (レンズ縁) —— レンズを保持する溝のついた部分
- 5| パッド (鼻あて) —— メガネを支えるための鼻に接する部分
- 6| パッド足 —— パッドとリム又はブリッジとつながる部分
- 7| モダン (先セル) —— チック部分
- 8| 丁番 —— フロントとテンプルをつなぎ、開閉機能を持った部分
- 9| バンド (糸、吊り糸) —— 溝掘りの溝をそってレンズを保持するための部分

C| コンビネーションフレームa



フロント主要部分がプラスチック
と金属の組合せで作られたもの
で、リムがプラスチックで作っ
てあるフレーム

D| コンビネーションフレームb



フロントの主要部分がプラ
スチックと金属の組合せで作られ
たもので、リムが金属で作っ
てあるフレーム

警告

取り扱いを誤った場合に、失明や
重傷を負う可能性があります。

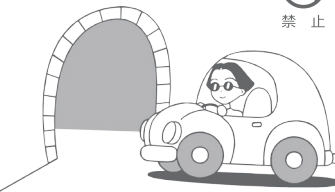
- 安全にお使いいただくために
避けていただきたい事項です。
- 安全にお使いいただくために
注意していただきたい事項です。

- 保護メガネとして使用できません。
サッカーや野球などの接触プレーの
あるスポーツの際や激しい衝撃を受
ける可能性がある場合は使用しない
で下さい。レンズやフレームが破損
し、その破片で顔面や目を負傷する
危険性があります。



- メガネに慣れてから車等の運転を行って下さい。
慣れないうちの運転は距離感がつかめず危険です。

- 暗い所 (夜間、夕暮れ時、曇り
の日、トンネル、室内等) での
カラーレンズ及び調光レンズの
使用は避けて下さい。視界不良
が原因で事故やけがをする恐れ
があります。



- UVカット加工の製品は日中の光線のまぶしさや通常使用
での有害紫外線を防ぐことはできますが、業務用の
紫外線保護メガネとしては使用できません。
- レンズの濃淡にかかわらず太陽や溶接などの
強い光線を直視しないで下さい。目を痛める
危険があります。特に、お子様の使用にあ
たっては保護者の方が十分注意して下さい。

火 気 厳 禁

- セルロイド材を使用しているメガネは、
170℃で燃えだします。ストーブなどの
火の近くには置かないで下さい。
- メガネ乾燥のため、ドライヤー、コンロ
などの熱源を使わないで下さい。
- 凸レンズ使用のメガネを直接日光に当たる場所に置きますと
レンズの集光効果により出荷する恐れがあります。
保管場所にご注意ください。



■ 縁なしフレーム ツープイントフレーム

レンズに穴をあけて固定する縁なしフレームは、構造上ネジのゆるみや枠の変形に特にご注意ください。一年を目安にお
買い求め店で点検を受けて下さい。レンズがむきだしになっていることと、レンズに穴を開けているため、リム (リム
縁) のあるフレームと比較して、レンズ割れの可能性が高いフレームです。丁寧に扱うようにして下さい。

■ 溝掘りフレーム

ナイロン糸等でレンズをつり下げる構造の溝掘りフレームは、糸の寿命により、糸が切れてレンズがはずれること
があります。糸は消耗品です。一年を目安に点検を受け、必要に応じて糸の買い替えをおこなって下さい。
ナイロン糸等は、熱・衝撃などにより切れることがあります。火のそばに置いたり、ぶつけたりしないで下さい。

■ 超弾性フレーム

超弾性フレームは、型くずれのしにくいメガネですが故意に変形させたり、無理に強い力を
加えたりすると材料破断を起こす恐れがあります。



注意

取り扱いを誤った場合に、けがや
物的損傷を負う可能性があります。

- 安全にお使いいただくために
避けていただきたい事項です。
- 安全にお使いいただくために
注意していただきたい事項です。

フレームの取扱上の注意

- メガネはレンズ、フレームとも高温 (60℃以上) にさらされたり、
急激な温度差にあうと変形したり表面層のはがれや、ヒビ割れ
の生じる原因となります。
また、熱によってレンズが変形し、フレームが脱落したり、
度数が変化して見えかたに悪影響を及ぼす可能性があります。

- 炎天下の車内は 70℃～ 80℃近く
になりますので、車内に放置
しないで下さい。



- サウナ等の高温になる場所での
使用は避けて下さい。
火傷起こす場合があります。

- 各部の素材は経年変化や摩耗・ゆるみなどのため、変色・
変形したり、折れたりすることがあります。
お買い求め店で一年を目安に定期的に点検を受けて下さい。

- ネジがゆるんだ場合や、変形したときはレンズがはずれる可能性
がありますので、使用を中止しお買い求め店で調整して下さい。

- パッド (鼻あて) は消耗品です。お買い求め店で一年を目安に点
検を受け必要に応じて買い換えて下さい。

- 故意に変形・改造したりキズをつけないで下さい。素材の劣化
により折れの原因となります。

- 整髪料、化粧品により、劣化、変質、変化の原因となる可能性
がありますので、すみやかに拭き取ってください。

- レンズを拭くときは、拭く方のレンズの外側
をもってそっと拭いて下さい。無理に力を
入れて拭くとフレームの型くずれ及び素材
の劣化による破損の原因になります。



アレルギー体質の方へ

- フレームが肌に触れる箇所にかゆみ、かぶれ、湿疹など異常が
あるとき、又は異常が現れたときにはご使用をやめ、医師の
診断を受けて下さい。体質にあった部品又はフレームと交換す
る事が必要です。

- フレームは経年変化によって、表面層のはがれやヒビ割れによ
る素材の露出や変色が起こる場合があります。そのままお使い
いただくとアレルギーを起こす可能性があります。
一年を目安にお買い求め店で点検を受けて下さい。

日常のお手入れ

- メガネの掛けはずしは、テンプル又はブリッジ
を持って顔の正面で行って下さい。片方のテン
プルを持って無理に取りはずすと形崩れやゆ
るみの原因となります。
掛ける場合、目をつく恐れがありますのでテン
プルを充分に開いてゆっくりと行って下さい。



- メガネを置くときは、レンズの凸面を上向きにして下さい。
下向きにしますとキズの原因となります。



メガネが濡れたときは、すぐにティッシュ
ペーパーやメガネ拭きで拭いて下さい。
濡れたまま放置しますと、水あとがし
みになってとれにくくなります。



- ベンジン、シンナーは汚れとりに使用しな
いで下さい。プラスチック部分や塗装部
分の劣化、変色、変質の原因となります。



- ゴミやホコリが付着しているときは、まず水洗い
をしてから拭いて下さい。
から拭きしますとキズの原因となります。



- フレームが曲がっていたりずり落ちたまま使用し
ていますと、レンズが正しく使えず、見づらくなり
ます。お買い求めのお店で調整をして下さい。



- メガネの掛け具合が悪く、鼻や耳に無理な負担がかか
るときは、お買い求めのお店で調整をしてもらって下さい。

保管上のご注意

- 持ち運びのときや、ご使用にならないときは、お手入れした上
でケースに入れて保管して下さい。

- 防虫剤、トイレ、浴用洗剤、化粧品、整髪料、薬剤などの入っ
た場所に長い間保管しておく、と、レンズ、フレーム共に劣化、
変質、変色の原因となります。

定期点検

メガネを快適且つ安全にご使用していただくために、一年に一度
は必ず、「視力測定」「フィッティング調整」「消耗品の点検や
交換」「レンズとフレームの劣化」等について、お買い求め店で
定期点検を受けて下さい。